

科目名 Course Name	ソーシャルワーク実習指導 I Guidance in Fieldwork of Social work I				ナンバリング No.	I1-012	
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡方法	C-Learning で対応。研究室は栄養棟3 階。オフィスアワーは担当授業時間以外。						
必修／選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP2, DP3, DP5						
授業の概要と 到達目標	ソーシャルワーク実習の意義や目的を理解した上で、実習前に学ばなければならない内容を整理する。 さまざまな施設や機関の現状を学習し、さらに社会人としての常識(身だしなみ・マナー)を身につけ、夏期休業中の体験学習へと結びつける。 ①ソーシャルワーク実習の意義について理解する。 ②社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養う。 ③ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。 ④さまざまな施設や機関の現状を学習し、さらに社会人としての常識(身だしなみ・マナー)を身につけ、夏期休業中の体験学習へと結びつける。 ⑤実際に実習を行う実習分野(利用者理解)と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関して理解し、説明できる。						
授業の方法	講義および演習。課題作成等。						
学習成果	L01						
	L02	実際に実習を行う実習分野(利用者理解)と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関する基本的な理解を深めるようにする。					
	L03	社会福祉士の倫理綱領と行動規範を学び、実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務(個人情報保護の理解を含む)を具現化できるようにする。					
	L04						
課題に対する フィードバック	質問や疑問は随時受付け、授業内で回答・解説を行う。						
教科書／ 参考図書	「スモールステップで学ぶソーシャルワーク実習」篠原拓也他、星和書店 福祉小六法 ミネルヴァ書房						
履修上の留意点 やルール等	●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。 欠席をした場合は、内容をクラスメイトに確認し、書類や課題は次回授業までに科目担当教員まで取りに来ること。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	以下の視点で評価する。教科書等の準備をして授業に臨んでいる。ワークに意欲的に取り組んでいる。他者の発表を聴いたり意見や感想を述べ学び合うことができています。自己覚知に努め、社会人としての常識を身に着けている。		45				
レポート／作品	課題レポートと授業内で作成する小レポートと課題で評価する。S 評価の基準は、提出期限、指定の様式を守り、誤字脱字がない。講義やワークの意味を捉えて内容がまとめられていること。			55			
発表							
小テスト							

試験					
その他					
合 計			45	55	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の目標や方法、成績評価方法について説明) 短大(2年間)での学び(授業の構成、短大での学び方、ノートの取り方、レポートの書き方等)
	事前・事後学習	事前:テキストを購入し、目次を読んでおく 事後:シラバスを読んでおく
2	授業内容	実習及び実習指導の意義(スーパービジョンを含む)
	事前・事後学習	事前:テキストP1～2を読んでおく 事前:テキストP2の課題を実施する
3	授業内容	多様な施設や事業所における見学実習と振り返り 課題①「実習生としての意識」
	事前・事後学習	事前:大栗の里の見学 事後:見学の振り返りを記入する 課題②見学レポート
4	授業内容	実際に実習を行う実習分野(利用者理解を含む。)と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解①「社会福祉士の仕事」
	事前・事後学習	事前:社会福祉士の働く分野を複数調べておく 事後:ワークシートの記入とふりかえり
5	授業内容	実際に実習を行う実習分野(利用者理解を含む。)と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解②「社会福祉士の仕事」 課題③第4回目、第5回目のワークシート
	事前・事後学習	事前:社会福祉士の働く分野を複数調べておく 事後:ワークシートの記入とふりかえり
6	授業内容	実習先で関わる他の職種の専門性や業務に関する基本的な理解
	事前・事後学習	事前:小六法の目次と索引を通読する 事後:各職種の法的根拠について調べる
7	授業内容	実際に実習を行う実習分野(利用者理解を含む。)と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解③
	事前・事後学習	事後:実習を行いたい実習分野、施設を選定しておく 事後:福祉小六法を使って、施設・機関の法的根拠についてまとめる。
8	授業内容	実際に実習を行う実習分野(利用者理解を含む。)と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解④
	事前・事後学習	事後:実習を行いたい実習分野、施設を選定しておく 事後:福祉小六法を使って、施設・機関の法的根拠についてまとめる。
9	授業内容	実際に実習を行う実習分野(利用者理解を含む。)と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解⑤発表 課題④実習分野の課題
	事前・事後学習	事前:発表準備、練習 事後:発表についてのふりかえり、自己評価
10	授業内容	実習先で必要とされるソーシャルワーカーの価値規範と倫理・知識及び記録方法に関する理解①
	事前・事後学習	事前:テキストP6の課題を行う 事後:テキストP7の課題を行う
11	授業内容	実習先で必要とされるソーシャルワーカーの価値規範と倫理・知識及び記録方法に関する理解② 課題⑤ ソーシャルワーカーの価値と倫理
	事前・事後学習	事前:テキストP8の課題を行う 事後:テキストP7～8の課題のまとめ
12	授業内容	実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務等の理解
	事前・事後学習	事前:テキストP9～12を読んでおく 事後:P12の課題を実施する。
13	授業内容	実習中に守るべきプライバシーの保護について 課題⑥プライバシー保護と守秘義務
	事前・事後学習	事前:居住地の実習施設をリストアップする 事後:見学先の選定
14	授業内容	夏期休業中の見学・体験学習について
	事前・事後学習	事前:見学先の選定 事後:見学先の選定と決定、見学依頼

15	授業内容	夏期休業中の過ごし方
	事前・事後学習	事前:見学先の決定、見学依頼 事後:ソーシャルワーク実習指導Ⅰのふりかえり